

ESG活動報告

ESG活動報告ハイライト



環境

環境に配慮した容器梱包への転換

シーシーアイは、環境保護を目的とし、容器梱包類のボトル変更、詰め替え、つけかえ用製品を販売することにより、プラスチックの抑制および廃棄物の削減を図っています。

2022年12月には新たにカーシャンプーの容器をボトルからパウチパックに切り替えました。

また、2020年12月以降に開発した製品は、FSC認証（責任ある木質資材を使用）を受けた容器を使用しています。今後も環境に配慮した容器梱包への転換に取り組んでいきます。

プラスチック使用量

77%削減



※プラスチック使用量は、液体重量あたりのプラスチック重量から算出した数値（当社従来品比較）

社会

人権の尊重への取り組み

シーシーアイグループは、「人権尊重」をサステナビリティ経営の最重要テーマのひとつと捉え、「シーシーアイグループ人権方針」を2021年に策定しました。この方針のもと、国内のすべての役員と従業員を対象に人権研修を実施しました。

また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」の順に従い、人権デュー・ディリジェンス[※]の実施を進めています。2022年度は国内外のグループ会社および協力会社89社から自己評価調査票（SAQ）に回答いただき、リスクの調査・分析を行いました。今後は、特定した課題について、対応を進めていきます。

※人権デュー・ディリジェンス：人権への負の影響を特定、防止、軽減し、どのように救済するかという継続的なプロセス

ステークホルダーとの対話・協議
人権に関する適切な教育・研修

人権デュー・ディリジェンス

リスク特定

予防・是正

シーシーアイグループ

人権方針

情報開示

効果検証

相談窓口

WEB 人権方針



ガバナンス

情報セキュリティの強化

シーシーアイグループでは、業務のデジタル化やDXを推進する中で、サイバー攻撃や情報漏洩によるリスクの軽減に取り組んでいます。2023年に「情報セキュリティ基本方針」を策定し、方針に基づいたセキュリティ対策、継続的な改善活動の実施により更なる情報セキュリティの強化に取り組んでいます。国内では、全従業員を対象とした情報セキュリティ教育や訓練を実施し、基礎知識の向上を図りました。今後は国内だけではなく、シーシーアイグループ全体で情報セキュリティ管理の強化に努めていきます。

シーシーアイの主な取り組み

- 基幹システム（ERP）の更新
- セキュリティソリューション（EDR）の導入
- 情報セキュリティ管理体制の整備
- 情報セキュリティ教育
- 標的型攻撃メール対策訓練

WEB 情報セキュリティ基本方針



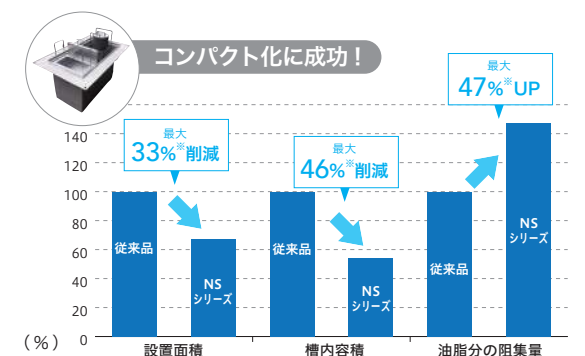
シーシーアイグループ

世界に広がるESG活動

下田エコテックにおける製品の環境貢献

グリーストラップをコンパクト化し、阻集効率大幅アップ！

下田エコテックでは、業務用の厨房に設置が義務付けられている「グリーストラップ（油脂分離阻集器）」の設計・製造・販売をしています。2022年10月に販売開始した新型グリーストラップ（NSシリーズ）は、従来品より設置面積最大33%削減・槽内容積最大46%削減というコンパクト化に成功し、材料使用量の削減を実現しました。一方で、従来品同様の槽サイズと比較して、油の阻集量を最大47%アップできました。



※従来品を100%とした時の同一のグリーストラップの能力を比較した場合（当社従来品比較）

シーシーアイ・オートモーティブ・プロダクツ（タイ）における環境貢献

ペットボトルをリサイクルし、CO₂削減

シーシーアイ・オートモーティブ・プロダクツ（タイ）では、工業団地の運営会社であるWHA Group社様と石油化学メーカー PTT Global Chemical Public Company Limited社様の活動に賛同し、2022年5月より、従業員からペットボトルを回収し寄付しています。寄付したペットボトルは、ポリエステル繊維に再生され、カバン等に生まれ変わります。廃棄物削減によるCO₂削減およびサーキュラーエコノミーの実現を目指し、引き続きこの活動を続けていきます。



WHAから寄付実績報告受領の様子
（2023年1月）

環境 Environment

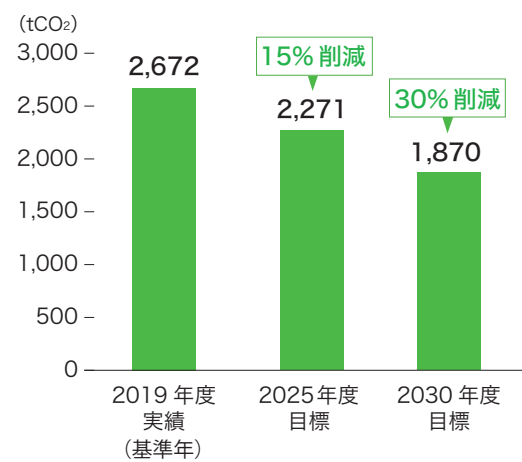
シーシーアイグループは、「2050年カーボンニュートラル」に向けて、温室効果ガスの削減、環境に配慮した製品の提供やシーシーアイグループならではの技術を活かし、地球環境の保護活動に積極的に取り組んでいます。

気候変動への取り組み

温室効果ガスの削減

シーシーアイは温室効果ガス排出量削減の取り組みとして省エネルギー活動や再生可能エネルギーの利用を推進しています。Scope1,2における自社CO₂排出量を2030年度までに2019年度比で30%削減するという中期目標を設定しています。活動を促進するためプロジェクトを発足し、生産活動における排出量削減のためアクションプランを設定し、排出量削減に取り組んでいます。また、2022年度はグループ会社においてもCO₂排出量の算定を行いました。シーシーアイ・マニュファクチャリング・イリノイ(米国)では、コンサルタントとともに活動を進めています。今後はシーシーアイグループ全体で取り組んでいます。

■シーシーアイのCO₂排出量(Scope1, 2)



環境マネジメント

環境マネジメントシステム

シーシーアイグループは、全従業員が共通の認識を持って環境対策に取り組むべく、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを導入し、環境への取り組みについて計画し、実施・レビューを行い、継続的な改善を進めています。認証未取得の生産拠点においては、認証の取得に努めています。



ISO14001
認証取得

6拠点

(2023年3月時点)

化学物質管理体制

化学物質の管理体制の構築

シーシーアイは、化学物質の審査および製造等の規制に関する法律、特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律、労働安全衛生法、毒物および劇物取締法等多岐にわたる法令を順守しています。また化学物質による人、環境への悪影響を未然に防ぐため、各部門と協力し合い、化学物質の管理体制の構築に取り組んでいます。

サーキュラーエコノミーの実現に向けて

シーシーアイは行動規範に基づき、サーキュラーエコノミーの実現に向けて活動していきます。生産時に発生する廃棄物の削減を図るとともに、リサイクル資源を有効活用し新たな資源投入を抑えた製品生産を推進していきます。また、自社製品の再資源化と活用に向けて取り組んでいます。

廃棄物の抑制

〈作業工程見直しによる原材料使用量の削減〉

産業タイヤ事業部では、作業工程の見直しにより、原材料の使用量を削減しました。引き続き廃棄物削減に取り組んでいます。



原材料使用量

5.6%削減

(2021年度比)

〈洗浄水の削減、再利用〉

カーケミカル事業本部では、工場内タンクの洗浄水の削減、再利用に取り組んでいます。今後はシーシーアイとして水使用量の削減目標を設定し、継続的な水資源の確保を通じて、持続可能な社会に貢献していきます。



洗浄水削減量

18%削減

(2019年度比)

〈シーシーアイグループにおける廃棄物の削減〉

シーシーアイグループの中国2工場においても、洗浄水の削減に取り組んでいます。また、ドラム缶で購入していた原料をタンクローリーに変更することで廃棄するドラムの削減や検査用サンプル量を適正化し廃棄量の削減にも取り組んでいます。今後も、環境に配慮した製造体制の構築を進めていきます。

製品の環境貢献

シーシーアイは、今まで培ってきた技術を活用し、環境に配慮した製品の開発に取り組んでいます。

環境配慮型製品の開発

〈制振材の開発〉

制振材「ダイボルギー®※」シリーズは、高分子材料に特殊な添加剤を混ぜ合わせ、分散させる当社独自の技術を使用することで、音や振動、衝撃のエネルギーを吸収し、気になる騒音をカットします。制振材だけではなく、形状を問わず使用ができる制振塗料等、騒音の特性に合わせた対処方法で静かで快適な空間を提供します。

※ダイボルギーとは、ダイボール(双極子)とエネルギーを組み合わせた造語



ダイボルギー吸音フォーム

製品のリユース

TOPIC

長寿命ウレタンタイヤ「ウルトランス」巻き直し

長寿命ウレタンタイヤ「ウルトランス」は、巻き直しに対応しています。巻き直しとはウレタン車輪のホイール部分を再利用し、ウレタンを新しく貼り替えて車輪の機能を復活させる技術です。車輪を丸ごと交換せずに済むため、製造と廃棄にかかるコストの削減となり環境課題の解決にも貢献します。更に、耐摩耗に優れた製品や、高耐久で長く使える製品の開発により、廃棄物を減らし資源の使用削減を目指していきます。



巻き直しの実績
2021年度 3,636個 → 2022年度 3,882個



before



after

7%増

〈油脂分解微生物製剤の拡販〉

油脂分解微生物製剤「オイルバニッシュ」は、食品工場などの排水中に含まれる油脂を強力に分解し油脂廃棄量を大幅に削減します。また、排水中のn-Hex(ノルマルヘキサン抽出物質含有量)を大幅に削減し、油脂の腐敗などによる悪臭を低減し環境保全にもつながります。2018年から販売を開始し、食品工場で導入され、その効果が実証されています。今後も、更なる販売促進により、廃棄物の削減に貢献していきます。



オイルバニッシュ

社会 Social

シーシーアイグループは行動規範に基づき、安全を最優先した行動、お客様の満足度の向上に努めていきます。また、地域社会と積極的に交流を行い、事業を活かした活動や社会の課題に応える活動を通して、持続的な社会貢献を目指していきます。

品質

品質保証への取り組み

シーシーアイグループは製品の安全品質を支えるため、品質マネジメントシステム（ISO9001）の認証を取得し継続的な改善を推進しています。お客様からのクレームに関しては、お客様の安全を第一として迅速かつ適切に対応しています。また、品質管理の標準化のため、グローバルで共通の基幹システムの導入を進めています。これにより生産工程管理を見える化し、不具合の早期発見、早期解決、再発防止のための適切な対策を講じています。今後もグループ全体で更なる高品質なモノづくりに取り組んでいきます。

■品質マネジメントシステム外部認証（2023年3月時点）

ISO9001 認証	7 拠点
IATF16949 認証	4 拠点

品質教育

シーシーアイは定期的に全従業員への品質教育を実施しています。また、製造部門の品質意識・生産性向上を目的に、コンサルタントによる品質教育も行っています。これからも継続的な教育を行い、従業員の品質意識を高めていきます。



品質教育
受講率

100%

（2022年度）

お客様とともに

顧客満足度向上への取り組み

シーシーアイは、顧客満足度の向上を図るために、日常の活動を通して直接頂戴するお客様の声、定期的に行っている「お客様満足度調査」でのアンケートのご回答や、顧客窓口にご寄せられるお客様の声を真摯に受け止め、その貴重なご意見を各部門の改善活動へつなげています。また顧客窓口担当者を対象に電話応対マニュアルを整備し、電話応対スキル教育を実施しています。今後も、お問い合わせに対して、より一層のサービス向上に努めて参ります。

取引先様とともに

CSR 調達の取り組み

シーシーアイは従来の品質・性能・価格・納入条件を重視した調達活動から自然・労働環境・人権等といったCSR要素も重要視した調達活動に向けて取引先様（サプライヤー）とともに取り組んでいます。シーシーアイは事業の持続性に影響を及ぼす可能性のあるリスクを低減することを目的にCSR調達ガイドラインを制定し、取引先様にご理解していただいた上で、サプライチェーン全体に展開しています。また、その状況を確認するため、CSRガイドラインの順守状況や紛争鉱物調査等のアンケート調査（SAQ）を実施し、取引先様とともに事業の持続性を確保しています。

労働安全衛生への取り組み

シーシーアイは労働災害リスクの低減・管理のため、労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001）を全拠点に構築し、安全・防災標準を策定しました。また重傷につながるリスクを軽減するために、適切な作業手順の整備、保護具着用の徹底等の対策を行っています。今後は、グループ全体での安全基準の制定、従業員の安全意識の向上を目的とした継続的な教育を実施し、労働災害リスクの低減に努めていきます。



工場内安全巡回の様子（2023年3月）



労働災害*
発生状況
※休業災害以上

0件

（2022年度）

TOPIC

シーシーアイ・マニファクチャリング・ドイツにおける取り組み～1人作業時の非常通報装置導入～

1人で作業をしている従業員が、事故や病気で転倒・転落した場合等に、自らボタンを押すまたはその動きを検知し、自動で緊急通報する装置を2022年11月に導入しました。1人作業時に発生した緊急事態に素早く対応することにより、安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。



非常通報装置

社員とともに

人材育成

シーシーアイは企業理念に基づき、教育制度を充実させ人材育成に取り組んでいます。新入社員研修をはじめとした階層別研修や外部講師によるスキルアップ研修、ビジネス英会話研修等を実施しています。また、従業員が業務に関する資格を取得することを奨励するため資格取得報奨金給付制度を定めています。

■研修一覧

階層	階層別 研修	テーマ別 研修	部門別 研修	自己啓発
管理職	新任部長研修 新任グループマネージャー研修	サステナビリティ 人権 行動規範 コンプライアンス 安全衛生 環境・品質 情報セキュリティ 避難訓練 ハラスメント LGBTQ※ メンタルヘルス 5S 安全運転 救命講習	各部門で 実施	社外セミナー 社内勉強会 ビジネス英会話研 eラーニング 資格取得報奨金 給付制度
中堅社員	新任リーダー研修 昇格時研修			
若手 新入社員	3年目研修 新入社員研修			
内定者	内定者研修（入社前）			

※LGBTQ：性的マイノリティの総称

働きやすい職場づくり

シーシーアイは働きやすい職場環境をつくることにより、すべての従業員が仕事と生活の調和を図り、個人の能力を最大限に活かせるよう目指しています。2020年度には「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」に認定、2021年度には「関市女性が働きやすい職場認定」を取得しました。シーシーアイホールディングスでは2022年度に「くるみんな認定」を取得しました。



〈多様な働き方とテレワークの導入〉

シーシーアイはスーパーフレックスタイム制や副業・兼業制度を導入し、その人に合った働き方ができるようにすることでワーク・ライフ・バランスの向上を図りました。2020年度にはテレワークの導入、2022年度には更なるシステムのクラウド化を実施し、テレワークが可能となる職種を広げました。

〈育児と仕事の両立〉

シーシーアイは、子育てをする従業員に対し、法定以上の育児休業制度や短時間勤務制度を導入しています。2022年度には育児目的休暇を子が3歳の年度末まで取得期間を延長し、男性でも育児に参加しやすい体制を構築しました。



育児休業
取得率
※育児目的休暇も含む

男性 50% 女性 100%
（2022年度）

ダイバーシティ&インクルージョン

シーシーアイは、多様な人材が互いの価値観を認め合い、尊重し合い、個人の能力が発揮できる職場を目指し、定年年齢を60歳から65歳へ延長する等の様々な取り組みを行っています。

〈LGBTQへの取り組み〉

シーシーアイは、LGBTQを正しく理解するために全従業員を対象に外部講師による研修を実施し、2022年度からアライを募り、活動を開始しました。レインボーバッジを配付し、アライの見える化を推進しています。これらの取り組みが評価され、2022年11月にPRIDE指標（LGBTQへの取り組みの評価指標）でブロンズ認定されました。



アライ
(LGBTQを理解し
支援する人)



65人
（2023年3月時点）

生産性の向上

シーシーアイは各部門における業務システムの統合やデータベースの一元化などにより、業務の標準化やデジタル化を推進し、会社全体における生産性の更なる向上に取り組んでいます。2019年度よりRPA業務自動化ロボットを導入し、受発注システム等の自動化を進めています。また2018年度より工場のスマートファクトリー化を進め、製造工程を可視化し品質向上や機器のデジタル化、自動化を進めています。



業務デジタル化等
による労働時間の削減

1,072h削減
（2022年度 社内推算した推定値）

社会貢献活動

研究助成プログラムの実施

シーシーアイは新規事業の実現につながる新しい価値を若手研究者の方とともに生み出すことを目指し、そのために必要な技術を確立する研究、およびその基礎となる科学技術開発に対して助成を行っています。近年では研究テーマを特定せずに、幅広い分野で助成を行っています。



7件 (2022年度)

地域貢献

シーシーアイはスポーツ振興を通じた地域貢献や地元選手、未来を担う学生の活動を支援、応援しています。

〈高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン〉

本大会では毎回、従業員よりランナーが出演しています。来場者の皆さんとのコミュニケーションを大切に、スポーツを通じた地域貢献を行っています。



高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン2022
(2022年4月24開催)

〈シーシーアイカップ〉

2020年度より岐阜県サッカー協会4種(小学生チーム)に協賛し、2022年10月には「第18回岐阜県選抜大会8人制U-11・12」2023年1月には「第3回岐阜県U-9」を開催しました。これからも子どもたちの心身の健やかな育成を応援していきます。



第3回岐阜県U-9サッカー大会
(2023年1月15日開催)

〈関ジモト大学〉

2021年度より、岐阜県関市のNPO法人を通じて、地元の高校生を対象とした教育支援活動を毎年行っています。2022年8月にオンラインでシーシーアイのSDGsの取り組みについて説明を行いました。これからも未来を担う学生の教育支援に貢献していきます。

〈海外子会社の活動〉

シーシーアイ・マニュファクチャリング・イリノイ(米国)は、「Team Honda Week(s) of Service[※]」に、2017年から毎年参加しています。2022年は従業員から保存食料品を募り、地元のフードパントリー(食材を無料配布する活動)へ寄付しました。

※北米全土のHonda様従業員、ディーラー、サプライヤーの有志が各地域に適したボランティア活動を実施。

■主な協賛先一覧(2022年度)

●モータースポーツへの支援

- ・ホンダモビリティランド
- ・ホンダモビリティランドレーシングスクール

●地域スポーツへの支援

- ・プロバスケット「岐阜スーパース」
- ・プロサッカー「FC岐阜」
- ・モトクロス土屋元希選手
- ・ふどうの森トレイルラン
- ・eモータースポーツ大会 中部地区

●学生への支援

- ・自動車技術会学生フォーミュラー
- ・岐阜大学フォーミュラー
- ・岐阜大学iGEM(学生向けの世界合成生物学大会)

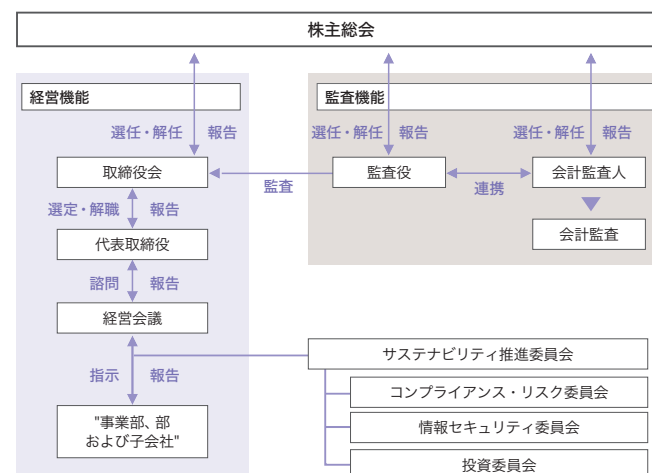
ガバナンス Governance

シーシーアイグループは、経営の透明性を高めながら監督機能の強化と意思決定の迅速化を図り、コンプライアンスを確保することをコーポレート・ガバナンス上の最重要課題と位置づけています。コーポレート・ガバナンス体制の強化・充実を推進することにより、企業価値の向上を目指しています。

コーポレート・ガバナンス

シーシーアイは従業員をはじめ、株主様・お客様・取引先様・地域社会などすべてのステークホルダーを意識した、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定ができるよう、下図のとおりコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。最高経営意思決定機関である取締役会は、法令に定められた事項や経営に関わる重要事項の決定、取締役の監視機関として位置づけています。一方で公正・独立の立場から社外監査役を含めた、監査役が取締役の職務執行、経営の監査を行う体制を構築しています。

■コーポレート・ガバナンス体制図



TOPIC

製品提供を通してモータースポーツ業界に貢献
TOYOTA GAZOO Racing

TOYOTA GAZOO Racing World Rally Teamとは2017年からパートナーシップを締結し、ブレーキフルードおよびエンジンクーラントを、ヤリスWRCに提供しています。2022年11月に愛知県、岐阜県で開催された「ラリージャパン」では地元企業として大会を盛り上げることができました。今後もWRC、鈴鹿サーキット、AUTOBACS RACING TEAM AGURIへの協賛を通じてモータースポーツの活性化を願い、貢献していきます。



© TOYOTA GAZOO Racing World Rally Team 2023

コンプライアンス

法規制対応

シーシーアイは法規制の新設・改正の対応について、漏れなく正しく行うことを目的に、顧問弁護士と関連部門で定例ミーティングを毎月開催し、新設・改正情報、当社の対応や進捗状況を共有し、管理する体制を構築しました。今後も管理体制の強化に努めていきます。



0件 (2022年度)

内部通報

シーシーアイグループは不正行為の未然防止、早期発見および是正を図り、コンプライアンス経営を推進することを目的として、内部通報システムを導入しています。従業員からの相談事や内部通報を受け付ける社外・社内の窓口を設置し、コンプライアンス事務局が適切に処理します。



0件 (2022年度)

コンプライアンス研修・教育

シーシーアイグループでは、正しい知識の定着、意識の醸成を図るため、行動規範研修やハラスメント研修等を継続して実施しています。シーシーアイでは、2022年度から全従業員を対象にコンプライアンスブックを用いて、毎月教育を行っています。今後も従業員の更なる意識の向上、浸透を図っていきます。



コンプライアンス研修受講風景
(2023年3月)

リスクマネジメント

事業継続計画

シーシーアイは、緊急時対応計画(ERP)・危機管理計画(CMP)・事業継続計画(BCP)マニュアルを策定し、事業継続管理(BCM)体制を構築しました。毎年、定期的な見直し・訓練の実施を行うことで有事の際、誰もが動ける備えができるよう取り組んでいます。



総合防災訓練の様子(2022年12月)



98% (2023年3月)